

秋来れば月に別れを告げるとて
知らしむ人の若き面影

令和四年十一月八日

大中臣正比呂



喪中の葉書が来た。空を見上げると、今夜は満月で皆既月食だそうな。

しかも天王星食でもあるらしい。天に昇られた故人は、しっかりと

月に別れを託されたのであろう。